



HABITS TO THRIVE BY

世界的ベストセラー『7つの習慣』著者息子

ショーン・コヴィー

真のリーダーの「資質」とは？

世界累計発行部数5000万部超、日本でも270万部超を誇るビジネス書の世界的ベストセラー『7つの習慣』。米国の経営コンサルタント、スティーブン・R・コヴィー博士による本書は、1989年の刊行から30年以上たった今も、多くの人に読み継がれている。ビジネスリーダーに必要な資質とは何か。成功する組織の条件とは何か——。EE編集部は、コヴィー博士の意志を受け継ぐ息子ショーン・コヴィー氏にインタビューを行った。人生の成功とは何か、自分は何を成し遂げたいのか。ぜひショーン氏の言葉に耳を傾けてほしい。



ゲスト

ショーン・コヴィー

経営者、作家、講演家であり、フランクリン・コヴィー社エデュケーション部門 最高責任者。原則中心のリーダーシップ・アプローチを通じて世界中の教育変革に尽力している。ウォール・ストリート・ジャーナル紙のビジネス・ベストセラー1位に輝いた『実行の4つの規律』など著書多数。『7つの習慣 ティーンズ』は20の言語に翻訳され、世界中で800万部以上を売り上げている。



Listening Quiz

54 “影響力のある人”になるための「7つの習慣」

EE Which of the 7 Habits would you say are especially important for Japanese people to acquire?

Sean Covey They're all important, but if I had to pick one for Japanese society, it would probably be Habit 5: “Seek first to understand, then to be understood.”*

Japan is a very competent place. You do a lot of things really well, and you lead the world in...in technology, and you've got a great reputation. And sometimes, when we get good at something, we tend not to listen as much.

And “Seek first to understand, then to be understood” is basically saying in life, if you want to have influence with another person, you need to first listen to them. The key to influence is to first be influenced. And Stephen discovered in all of his research that effective people—effective teams, effective families and organizations—have the habit of seeking first to understand, listening first before prescribing. You diagnose before you prescribe.

EE With what sort of attitude do you think people should approach the 7 Habits as a whole?

Covey The question I get asked a lot is “Of all the habits, which one is most important for me individually?” And I'd say the most important habit is the habit you're having the most difficult time living.

thrive by:
《タイトル》(信条・規則など)に従って栄える、成功する

acquire:
～を身に付ける、習得する

seek to do:
～しようとする

competent:
有能な、能力が高い

reputation:
世評、評判

get good at:
～がうまくできるようになる、得意になる

tend not to do:
～しない傾向がある

influence:
①《have influence》影響力を持つ ②影響 ③～に影響を与える

effective:
効果的な

have a habit of doing:
～する習慣がある、～するのを常とする

prescribe:
処方する

diagnose:
診断する

attitude:
態度、姿勢

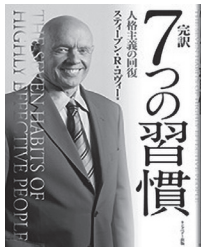
approach:
～と向き合う、～にアプローチする

as a whole:
全体としての

individually:
個人的に、個人として

have a difficult time doing:
～するのに苦労する

live:
(生き方として)～を実践する、実行する



人生の成功と幸せを実現するための
普遍的な原則を提示

『完訳 7つの習慣 人格主義の回復』

著：スティーブン・R・コヴィー

翻訳：フランクリン・コヴィー・ジャパン

出版社：FCE（キングヘアー出版）

2420円（税込）



スティーブン・R・コヴィー

自分の運命を切り開くための奥深いアドバイスをわかりやすく教えることに生涯をささげ、1996年、タイム誌が選ぶ世界で最も影響力のあるアメリカ人25人の1人に選出。国際的に高く評価されるリーダーシップ論の権威、家族問題のエキスパート、教育者、組織コンサルタントとして活躍。フランクリン・コヴィー社の共同創設者。ユタ州ソルトレークシティー生まれ。2012年、79歳で逝去。

EE 「7つの習慣」の中で日本人が身に付けるとしたら、特に重要なものはどれでしょうか。

ショーン・コヴィー どれも重要ですが、日本社会向けに1つ選ぶとしたら、おそらく第5の習慣、「まず理解に徹し、そして理解される」でしょう。

日本は非常に優れた力を持つ国です。とてもたくさんの方を大変うまくやっていますし、テクノロジーで世界をリードしています。そして、素晴らしい評価を得ています。ですが、時としてわれわれは、何かうまくできるようになると、あまり人の話を聞かなくなる傾向があります。

「まず理解に徹し、そして理解される」というのは、要するに、人生において他人に対して影響力を持ちたいのなら、まず相手の話を聞かなければならない、ということです。影響力を持つための鍵は、まず自分が相手から影響を受けることなのです。（父の）スティーブンはさまざまな研究によって発見しました、効果的な人々——効果的なチーム、効果的な家族や組織——は、まず理解しようとする習慣があると。つまり、解決策を提案する前に話を聞く。診断してから処方するということですね。

EE 「7つの習慣」全体に対しては、どのような姿勢で向き合うべきだとお考えですか。

コヴィー 私がよく聞かれる質問は、「全ての習慣の中で、私個人にとってどれが一番重要ですか」というものです。私はこう思っています、「一番重要な習慣は、あなたが実行するにあたって一番難しい習慣でしょう」と。

■ Habit 5: Seek First to Understand, then to Be Understood

（第5の習慣：まず理解に徹し、そして理解される）

自分の意見を伝える前に、まず相手の気持ちや考えを十分に理解しようとする姿勢を持つこと。私たちはしばしば、自分の経験や価値観を基準に相手の話を聞き、助言や反論を急いでしまいがちだが、それでは相手は「わかってもらえていない」と感じ、心を閉ざしてしまう。まず相手の立場に立って共感的に耳を傾け、相手を尊重して聞く。そのうえで、自分の考えを丁寧に伝え、理解してもらう。この順番を大切にすることが、信頼関係を深め、効果的なコミュニケーションにつながる。

